

1

Lodderomyces elongisporus による血流感染症の 1 例

◎中村 悠介¹⁾、関口 宜克¹⁾、水谷 恵子¹⁾、平手 ゆかり¹⁾、牟田 幸成¹⁾
労働者健康安全機構 神戸労災病院¹⁾

【緒言】*Lodderomyces elongisporus* は生化学的性状を利用した同定法により *Candida parapsilosis* と同定されるため *C. parapsilosis* 有性株と考えられていたが、近年の遺伝子解析により別の菌種に分類されている。*L. elongisporus* は主に遺伝子検査によって同定され、質量分析での同定も可能である。今回、我々は *L. elongisporus* によるカテーテル関連血流感染症を経験したので報告する。

【症例】76 歳男性。重症急性膵炎および急性肺炎で入院加療中に発熱を認めた。

【微生物学的検査】血液培養が施行され、翌日、好気ボトル 2 セットが陽性となり酵母様真菌が検出された。同時に抜去したカテーテルからも同様の酵母様真菌が検出され、クロムアガーカンジダ寒天培地上に淡青色のコロニーを認めた。ID 32 C アピ (bioMérieux) による検査結果 (プロファイル番号 7147150117、同定確立 94.8%) から *Candida sake* と同定された。クロムアガーカンジダ寒天培地上のコロニー性状が *C. sake* と一致しないため近隣大学病院微生物検査室に同定を依頼し、MALDI Biotyper (ブルカー・ダル

トニクス株式会社) を用いて *L. elongisporus* (score value 2.12) と同定された。薬剤感受性は酵母様真菌 FP 栄研 (栄研化学株式会社) にて測定し、すべての抗真菌薬に対して良好な感受性を示した。

【考察】*C. parapsilosis* はエキノキャンディン系抗菌薬に対して MIC が高いことが知られている。一方、*L. elongisporus* は感性である。クロムアガーカンジダ寒天培地上に淡青色コロニーを形成し、生化学的同定法で *C. parapsilosis* と同定されるが、エキノキャンディン系抗真菌に良好な感受性を示す酵母様真菌を検出した際には *L. elongisporus* を推定し、遺伝子解析や質量分析を実施できない施設でも臨床に情報提供できると考えられる。
連絡先：078-231-5901 (3523)